

Topics

皆さんお久しぶりです。

4月の支援費制度開始に伴い、愛隣館研修センターにも新たな事業が誕生いたしました。(既に開始されてから9ヶ月が過ぎ去ろうとしています…)

今回は新たに対象事業所となった愛隣デイサービスセンターと、障がい児・者ホームヘルプ事業「ゆうりん」(身体・知的・児童)の紹介を新スタッフにしていきたいと思います！

また、既に古株?となりつつある重症心身障がい者通所事業B型『シサム』、障がい者支援事業「あいりん」の報告もお見逃し無く!!!

愛隣デイサービスセンター

愛隣デイサービスセンターに関わって半年がたちました。最初は不安に思う事がいっぱいありました。が、わからない事はスタッフの方々が親切に教えてくれます。自分の思っている事や疑問も聞いてもらえます。

一人一人の個性を尊重してくれる、すごく自分を出しやすい、いい環境で仕事させてもらっていると思います。

利用者さんとコミュニケーションをとるときも「ありがとう」の一言や、感謝の言葉をもらったときにすごくやりがいを感じます。けれども同時に「本当に一人一人の利用者さんたちに安心してデイサービスを利用してもらえているだろうか?」と考えることがあります。これからも利用者さんの性格や思いをよく理解し、その利用者さんに合わせたサービスを提供していけるようにより一層努力していきたいと思っています。

「はじめまして榊井一步です！」

遊隣

4年前、地域からの様々なニーズを拾い上げるべく、向島障がい者地域生活支援センター『遊隣』ができ、

この4月からは障がい児・者ホームヘルプ事業「ゆうりん」へと一部事業を移行いたしました。

『遊隣』、「ゆうりん」の双方の意味を探りながら、『遊隣』はレスパイト及び緊急一時預かりとして、「ゆうりん」はヘルプ派遣(居宅支援、外出支援)として展開を進めています。

現在94名の方が「ゆうりん」に登録されており、そのニーズの多さが伺えます。私達はただ利用者からのニーズに応えるだけでなく、個々の利用者に必要な支援とは何か、を見据えながら『遊隣』、「ゆうりん」を進めていかなければならないと考えています。

ガイドヘルパー…

「ゆうりん」のガイドヘルプサービス(外出支援)では、障がい児・者が、あたりまえに、且つ積極的に社会参加できる環境作りを目指し、運動の一貫として取り組んでいきたいと思っています。
どうぞ宜しくお願いいたします。(以上 丸山)

ホームヘルパー(体験談その1)…

知る人ぞ知る愛隣館の重鎮K氏宅に、週2回訪問しています。多くのボランティアによる見事な連携プレーで、K氏の24時間が織りなされていくのですが、その生活空間にある『物』の多さたるや! キッチン土産物の数々、いつ誰が使ったのか理解に苦しむ道具(これ以上詳しく書けない)等々が所狭しと鎮座しているのです。しかしそこはプロたる? 私たちヘルパー! 人それぞれ価値観が違って当然、思い出の宝物であるかも知れず、ポイッと簡単には捨てられないので勇気を出してK氏に伺ってみたのです。答えは一言「ほかして!」。(ええー!!!と言いつつ紙袋に未だ在中…)

かくして『住環境改善計画劇的ビフォーアフター』の始まり始まりー。
快適な空間、あたりまえの心地よさを得るための鍵を握るのは、他でもない今夜の宿泊ボランティアである〇〇〇、あなたなのかも知れませんネ。
(以上 坪内)

